



「凡事一流」と「正攻法」

草津市教育委員会事務局

学校教育担当副部長 兼 児童生徒支援課長 好士崎 壮

日頃は、草津市の教育全般にわたり格別のご理解とご協力をいただき、また、児童生徒支援課の取組にお力添えをいただいておりますこと、心より感謝を申し上げます。

私事ですが、現職に着任して3か月が経ちました。まだまだ不慣れですが、本当に多くの方に支えていただき、何とか仕事を進めている毎日です。ありがとうございます。

教育委員会事務局には、学校現場から日々様々な報告が届きます。人権教育、特別支援教育、不登校支援、教育相談、いじめ事案、生徒指導・・・などを担当する児童生徒支援課で受ける報告には、子どもたちや保護者の困り感が感じられるものが多くあります。また、先生方が日々様々な課題の対応に力を尽くしていただいている姿も伝わってきます。

自身の子どものころを振り返ると、課題が発生した時には、現在に比べて、教師個人の努力と情熱によって解決が図られていたように思います。私がまだ若手だった頃も、その傾向は強かったように感じます。

しかし、よく言われるように、現在は課題が多様化し、その背景も複雑化してきており、個人の努力だけでは解決できない事案が増えてきています。現代においてこれらの事案を解決していくには、「組織的な対応」が不可欠です。

例えば、児童生徒支援課では、不登校未然防止・初期対応として、小さな SOS を見逃さないため、子どもが欠席した場合の電話連絡や家庭訪問などを

共通実践し、ケース会議などで情報共有、組織対応していくをお願いしています。

多くの先生方が日常から実践されていて、当たり前「凡事」とも思えることです。しかし、それを教職員としての専門性をもって「一流」といえるまででいいに、そして徹底して実践することは難しいものです。特に対応が重なった時などには一人の力では無理があり、互いに協力し合っていかなければ、うまくいきません。

また、解決への取組においては、関係機関や専門家との連携を図るなど、さらに多くの力を結集した「チーム対応」も必要となります。そこでは、様々な視点から意見が出し合われ、ケースに応じた最適な解決策を見つけていくことになります。この専門家などの助言は、私の経験則で恐縮ですが、多くの場合「正攻法」であるように感じています。

事案の課題が大きいと、何から対応していけばよいかわ迷うことが多いのですが、結局は課題の中心に対して正面から対処する方が良い結果につながる人が多いようです。そのために必要なものを、専門家による整理・見立て・助言をしていただけて助かったことが、何度もありました。

児童生徒支援課では、課題に直面した時こそ、現場の先生方と力を合わせ、専門家とのマッチングにも注力しながら、ともにその解決に努めていきたいと考えています。

今後ともよろしくお願いいたします。

令和6年度 校内研究主題

学 校 名	研 究 主 題	教科等
志津小学校	自ら考え協働する子どもの育成 ～やってみよう！を引き出す課題設定と学びを深める対話の在り方～	生活科 総合的な学習の時間
志津南小学校	自分の考えを発信できる子どもをめざして ～読み解く力の視点を踏まえた、したいもんな授業づくり～	全教科
草津小学校	つながる 広がる 深まる 生活科・総合的な学習の時間 ～気づきや思いをつなげる教師のかかわり～	生活科 総合的な学習の時間
草津第二小学校	「かんじる ためす やってみる」 ～子どもの育ちと学びに伴走する美術教育～	図画工作科
渋川小学校	対話を通して仲間と共に学ぶ喜びがあふれ、自らの言葉で伝える子どもの姿をめざして	国語科
矢倉小学校	話し合い活動の充実 「何のために？」を意識して	特別活動
老上小学校	探究的に課題を解決しようとする子どもの育成 ～社会とつながる単元づくりを通して～	生活科 総合的な学習の時間
老上西小学校	自ら考え、ことばで伝える子どもの姿をめざして ～自分の考えで活発に伝え合い、学び合う授業づくり～	国語科
玉川小学校	すきです玉川 わたしも参加 つくるよろこび ～地域への誇りや愛着を持ち、持続可能な社会の実現に向けて、主体的に行動できる子どもの育成～	総合的な学習の時間 生活科
南笠東小学校	「おもしろい（知的好奇心が高まる）」と思える授業づくり ～子ども達が主体的に取り組むICTの活用を通して～	全教科
山田小学校	どの子にもやさしく「わかる」「できる」、確かな学力を育む授業づくり ～読む力を高めるための指導の工夫～	全教科
笠縫小学校	「自ら学び伝え合う力を育てる授業づくり ～聴いて話してやりとりする言語活動を通して～」	国語科
笠縫東小学校	子どもたちの自信や意欲を培う授業の創造 ～問題発見・解決学習を通して～	図画工作科
常盤小学校	自分の言葉でいきいきと表現し合う子どもの育成 ～国語科「読むこと」の領域を通して～	国語科
高穂中学校	令和の日本型学校教育の実現に向けた学校組織力の向上 ～学びあう教師集団の育成と教師力の醸成～	総合的な学習の時間
草津中学校	自分の考えをもち、適切に表現できる生徒の育成	全教科
老上中学校	探究的学習により意見交流を重ねて学びを深め考動する生徒の育成 -ESD を中心とした総合的な学習の時間と教科の学習とを往還した取組-	全教科
玉川中学校	「自ら課題を見つけ、協働の学びを推進し、解決をめざす生徒の育成 -いのち-」	全教科
新堂中学校	ESD 教育の観点から「伝える力」を育て、地域に密着した学習活動の充実	全教科
松原中学校	ESD を軸とした持続可能な社会の担い手となる生徒の問題解決力の育成 ～地域との協働学習を通して～	全教科 全領域

今年度の各小中学校の校内研究の研究主題を紹介します。どの小中学校でも、指導力の向上を目指して取り組まれています。ぜひ、研究内容や取り組みの情報交換に活用してください。

スキルアップ支援事業

授業づくり・学級づくり支援

☆☆☆ 授業力・学級経営力のスキルアップ ステップアップを!! ☆☆☆

1学期は、アドバイザーが各学校で対象の先生の授業を参観し、事後にそれを振り返り、“授業力・学級経営力”の向上につながる手立てを探ってきました。また、経験の深い先生の授業を共に拝見することを通して、自身の授業づくりの理論とスキルをより確かなものにしていただいています。

① “ねらい” および “ねらい達成のための手立て” を明確に！



授業づくりは教師用手引きをそのままなぞることではありません。
まず、授業のねらい＝その授業を通して子どもに育みたい資質・能力を明確に設定すること。
そして、そのねらいを達成させるための最も中心となる手立てをしっかりと立て、単元全体や1時間ごとのゴールイメージを持って授業を構想すること。そうしたことを一番大事にしています。

② “子ども主体” “こどもまんなか” の授業づくりを！

「正答・正解主義」、「教師主導型」授業からの脱却が求められています。だからと言って、「対話的」、「協働的」な学習が単なる形式的なものであってもなりません。

ねらいや学習内容、子どもの発達段階などに応じて、多様な“子ども主体”“こどもまんなか”の授業づくりを創意工夫していくことが大切です。

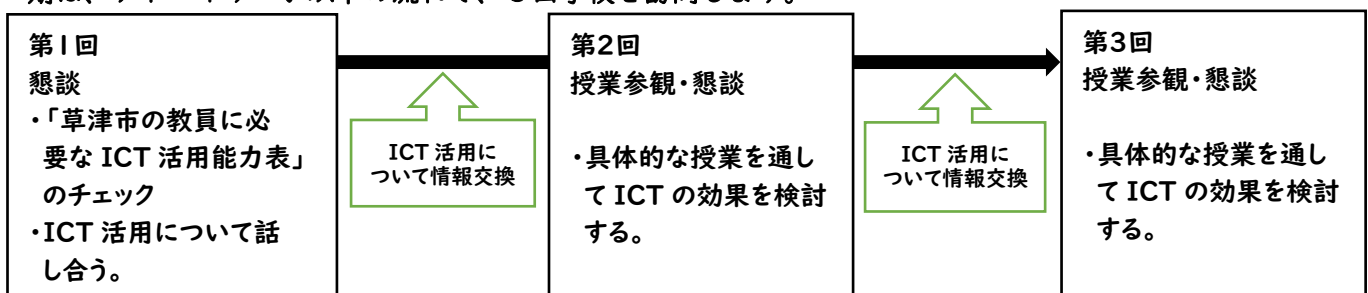
ペア・グループ活動やICTの活用などについても、そのなかで有効な中身や方法を考えていただくようアドバイスしています。



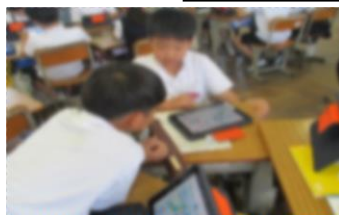
I C T 活 用 支 援

☆☆☆ 効果を実感できるICTの活用を!! ☆☆☆

ICT 活用支援では、アドバイザーが小中学校を訪問し、ICT の具体的な活用についての話し合いや、実際の授業での活用場面の参観を通して、対象の先生方がその効果を実感できるように支援しています。1学期は、アドバイザーが以下の流れで、3回学校を訪問します。



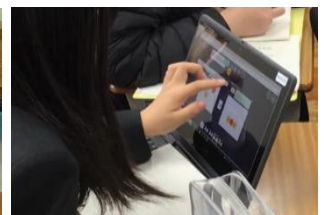
演技を確認しやすいようにスロー録画を活用する。



資料を比較検討できるように配信機能を活用する。



児童生徒が全員の意見を確認できるように画面配信機能を活用する。



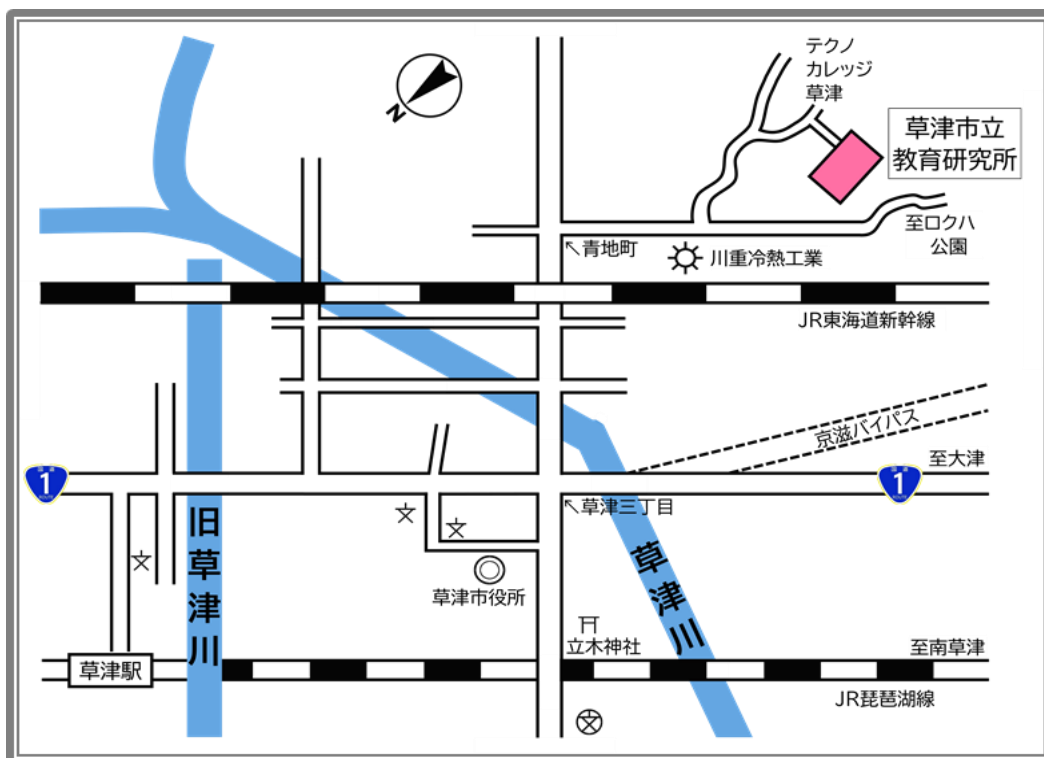
図形を操作しながら考えられるようにパワーポイントの図形を取込む。

		令和6年度草津市教職員夏期研修講座		全16講座		
No.	講座名	主な内容	講師	日時	場所	備考
1	人権教育講座① (部落問題学習)	「部落差別の解決をめざして ～生徒アンケートの結果からみてくること～」 部落差別解消に向けて、草津市として、部落問題学習等様々な積み上げをしているところですが、学習した子どもたちは差別をしない人間に育っているのでしょうか。今なお、差別に苦しむ人たちがいるということを踏まえ、それぞれの発達段階において、どんな教育、あるいはどんな指導が求められているのでしょうか。データや事例に基づくお話により、教育のもつ役割、教職員として、人間としてのあり方を考える時間をいただきます。	全国人権・同和教育研究会 実践報告協力者 原田 朋記さん	7月24日 (水) 13:30 ～ 16:00	教育研究所 研修室	
2	人権教育講座② (多様性・LGBTQ)	「ダイバーシティ教育(SDGs)って何だろう?～性別違和感を乗り越えて～」 ダイバーシティ(多様性)という言葉を目にする機会が増え、関心も高くなってきましたが、マイノリティの人々に対する偏見や差別、否定的な考えは未だに多くあります。この講座ではLGBTQにスポットを当て、身の回りにある無意識の偏見に気づき、理解を深めよう機会を持つことができます。すべての子どもたちが排除されることなく、「人権」が守られ、安心して過ごせる教室・学校にするために、私たち大人が「性のあり方」(性の多様性)について考えてみませんか。	レインボークリエイト 代表 定政 輝さん	7月29日 (月) 10:00 ～ 12:00	教育研究所 研修室	
3	生徒指導講座	「危機管理的な視点で事例を見立てる生徒指導 ～事例検討を通して～」 不登校・いじめ対応・学級崩壊の支援・家庭環境・ヤングケアラー等、現代の子どもたちを取り巻く様々な事例をもとに、危機管理的な視点で見立て・指導支援・対応していくための方法を演習を通して一緒に考えていきます。また、普段はなかなか聞くことができない法的な視点からの質問にも答えていただけます。	長野総合法律事務所 弁護士 草津市学校問題 サポートチーム アドバイザー 峯本 耕治さん	7月24日 (水) 9:30 ～ 12:00	教育研究所 研修室	教頭研修会と兼ねています。 生徒指導担当の方は3か4のいずれかに御参加ください。
4	生徒指導・教育相談講座(他機関連携) 【子ども家庭・若者課共催】	「大人が変われば子どもが変わる～子どもの気持ちを理解する～」学校・地域・行政との連携方法について 子どもたちの抱える悩みは、育ってきた家庭環境や身近な方との関係、地域環境などから影響を受け多種多様となっており、また、同じ境遇であっても抱える悩みは違うことから、一人ひとりに適した支援が求められています。このことから、必要とされる支援の処方箋として、日頃から大阪府下で子ども・若者を精力的に支援している経験と子ども家庭庁参加としての活動をもとにお話ししていただきます。	こども家庭庁参加 辻 由起子さん	7月25日 (木) 13:30 ～ 16:00	キラリエ 草津 6F大会 議室	生徒指導担当の方は3か4のどちらかに御参加ください。 教育相談担当の方は4か5か6のいずれかに御参加ください。
5	教育相談講座① (不登校支援)	「不登校児童生徒とその保護者の思いに寄り添って」 複雑化多様化した社会の変化に伴い、世の中は経済・体験格差の拡大や家庭の不安などに満ちています。本市においても不登校の数は年々増加しており、みなさんの学校(園)にも心配な子たちがいます。そんな子どもたちは一体どんなことを考えているのでしょうか?将来を見据えた指導をしていかにあたり、傷つきやすい子どもたちにどのようにかかわればよいのか、その保護者とのように向き合えばよいのか、考えるヒントとなるお話をしていただきます。	オープンスペース祐の風 代表 藤原 祐子さん	7月26日 (金) 9:30 ～ 11:30	教育研究所 研修室	教育相談担当の方は4か5か6のいずれかに御参加ください。
6	教育相談講座② (メンタルヘルス)	「メンタルヘルス ～リフレーミングで楽になりませんか～」 今年度も龍谷大学の山口特任教授に来ていただき、大津市社会福祉協議会で組織作りに御尽力された経験をもとに、働きやすい環境やもっと楽になれるコミュニケーション等について教えていただきます。学校のこと、学年のこと、学級のこと、一人で背負い過ぎていませんか。ちょっと見方を変え、みんなで支える職場集団のあり方について一緒に考えてみませんか。	龍谷大学特任教授 山口 浩次さん	7月31日 (水) 13:30 ～ 15:30	教育研究所 研修室	教育相談担当の方は4か5か6のいずれかに御参加ください。
7	特別支援教育講座	「養護学校で出会った子どもたちとのかわりを通して」 傷つきやすい子、すぐに拘ねてしまう子、集団になじめない子、特異な行動をする子……。教室にいる特別に支援を要する子たちの特徴にいち早く気づき、寄り添い、応援することはすべての子どもの安心につながります。養護学校に勤めておられたグレードアップSV古日山先生のこれまで出会われた子どもたちとのかわりについての話を聞きながら、目の前の子どもたちにどのように接していけばよいのか、一緒に考えてみませんか。子どもたちの卒業後や成人した姿を見通して、学齢期に関わる上で大切にしたいことを交えて教えていただきます。	グレードアップ連絡会SV 古日山 守栄さん	7月31日 (水) 9:30 ～ 11:30	教育研究所 研修室	特別支援教育部会の方は各校1名以上御参加ください。
8	ウェルビーイングな学校づくり講座	「ウェルビーイングな学校づくり」 子どもたちの貧困や児童虐待、ヤングケアラー問題、教職員の離職や病気休暇等、人手不足の中、学校では教職員も子どもたちも頑張っています。教職員の働き方改革はもちろん必要ですが、他者の動きだけにゆだねるのではなく、現場からウェルビーイングに向かい、ポジティブな発想と行動をしていくことを目指した実践を紹介していただきます。草津市では、第4期草津市教育振興基本計画にも「ウェルビーイングな学校づくり」が示されることとなっています。	埼玉県上尾市立 上平小学校 校長 中島 晴美さん	7月29日 (月) 13:30 ～ 16:00	教育研究所 研修室	
9	学力向上講座① (国語科教育)	「これからの国語授業について～主体的な学びを支える「ロングレンジ」の学習活動～」 変化の激しい未来を生きる子どもたちにとって、人と人とのつながりを創るツールとなる言葉を扱う国語教育の重要性は論じるまでもありません。国語教育の基礎となる「話す」「聞く」「書く」力を使い、主体的にコミュニケーションをとっていくとする子どもを育成するために、どのような学びが今問われているのでしょうか。国語科における「個別最適な学び」「協働的な学び」の授業実践等、様々な事例を紹介いただきながら、子どもが主体的に学ぶ国語授業のあり方について解説いただきます。	京都女子大学教授 水戸部 修治さん	7月25日 (木) 9:30 ～ 11:00	教育研究所 研修室	

No.	講 座 名	主な内容	講師	日時	場所	備考
10	学力向上講座② (英語教育)	「英語授業のつくり方」～子どもたちと一緒に楽しむ学習活動を考える～ 令和5年度に小学校の教科用図書採択が実施され、令和6年度は中学校の採択が予定されています。また、新しいICT機器やアプリ、デジタル教科書等の活用など、英語教育を取り巻く環境は変化し続けています。新しい教材やソフト等を活用した授業改善を含めて、改めて授業づくりのポイントについて、赤沢先生からわかりやすく教えていただきます。また、後半には草津市小学校英語専科指導教員より、実践報告をしていただきます。	佛教大学准教授 赤沢 真世さん	8月1日 (木) 13:30 ～ 16:30	教育研究 所 研修室	英語教育推進委員の方は御参加ください。
11	草津教員塾 学力向上講座③ (表現・図画工 作科・美術科)	「図工美術ワークショップ ～かんじる・ふれる・やってみる～」 草津市では、令和6年10月に全国造形教育研究大会(滋賀大会)が、令和7年8月に滋賀県美術教育研究大会(草津大会)が行われます。まさに、子どもたちの豊かな感性と表現力を育む図工美術の活動に、私たち教員も夢中になって取り組む絶好の機会です。当日は、身近な素材や珍しい素材などを使った4つのワークショップを中心に、表現・図工・美術と親しむ楽しい時間を過ごしていただきます。ぜひ、「かんじる・ふれる・やってみる」を体感してみてください。	滋賀県美術教育研究大会 令和7年度 草津大会実行委員会 ワークショップ部会	8月1日 (木) 9:30 ～ 12:00	笠縫東小 学校 図工室等	持ち物・服装については別途御案内します。
12	スクールESD講座	「持続可能な社会を創る子どもを育てるESD～具体的な取り組みの紹介を通して～」 将来の予測が困難な時代に、これからの社会の担い手となる子どもたちに今どんな力をつけておくべきなのか。社会に参画していく行動力を身に付けるために、どんな学習が必要なのか。子どもたちが地域に根差し、協働的かつ、主体的に学びを進める学びのサイクルを意識した取り組みについて、数々の実践事例を交えながら、お話しいただきます。	東近江市立八日市南小学校 校長 北崎 裕章さん	7月30日 (火) 14:00 ～ 16:30	教育研究 所 研修室	
13	ICT教育講座①	「生成AIの利活用について」 近年、生成AIの教育現場での利用のあり方について、活発な議論が行われています。最新の生成AIの機能と現職教員・教員養成系大学院生の生成AIの利用意向調査を通して、生成AI利用意向、教育現場で利用する可能性と留意点、求められる教育内容等、考察されたことについてお話しいただきます。	鳴門教育大学 教員養成DX推進機構長 特命教授 藤村 裕一さん (中央教育審議会初等中等 教育分科会デジタル学習基 盤特別委員会委員)	7月22日 (月) 15:10 ～ 16:45	キラリエ 草津 6F大会 議室	
14	ICT教育講座②	「①『協働学習ソフト』・②『AI型デジタルドリル』を利用した授業づくり(初級・中級)」 ①(前半:9:00～10:45) シンキングツールや共有ノート等の実技研修により、協働的な学びをコーディネートできるスキルを身に付けます。ロイロ認定インベーターより、丁寧に指導いただきます。 ②(後半:10:55～11:55) AI型デジタルドリルについて、目的に応じた課題発信や個人・学級の学習ログの活用方法を習得します。ラインズ(株)担当より、デジタルドリルソフト体験を通して学びます。	【協働学習ソフト研修】 株式会社Loilo 上原浩平さん ロイロ認定インベーター 徳千代太一さん 【デジタルドリル研修】 ラインズ株式会社 文教グループ大阪支店 小林由乃さん	7月30日 (火) 9:00 ～ 12:00	教育研究 所 研修室	必ずご自分の指導者用コンピュータ(お持ちでなければ校務用コンピュータ)をお持ちください。
15	こどもまんなか 社会(学校)づくり講座 (幼保小接続) (子どもの権利 条約)	「こどもまんなか社会の実現に向けて～草津市の取り組みを踏まえて～」 児童虐待の相談対応件数や不登校、いわゆるネットいじめの件数が過去最多となる等、子どもを取り巻く状況は深刻になっており、様々な課題が取り上げられています。次代の社会を担う全ての子どものが、将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指して、子ども政策の総合的な推進が求められています。その中でも、幼児教育・保育、学校教育において、大切なことは何か、幼保小接続について等、草津市の取り組みを踏まえた上でお話しいただきます。また、こども家庭庁の立ち上げに携わった経験や福岡県での地方教育行政に携わった経験から、子どもの権利条約や生徒指導提要の改訂等についても言及いただきます。	文化庁政策課専門官 (前・こども家庭庁保育政策 課課長補佐、元・福岡県教育 委員会義務教育課長) 塚田 淳さん	7月26日 (金) 14:00 ～ 16:00	キラリエ 草津 6F大会 議室	教育会共催
16	研究発表大会① 第1部 奨励論文・研究 論文発表会	①「伝える」から「伝わる」へ保育の可視化をめざして～見える・わかる・つながるための取組を通して～ ②地域とつながり、持続可能な社会の実現に向けて、主体的に行動できる子どもの育成 ～子どもの学びがにつながるカリキュラムの構築～ ③学びの共同体実現に向けた指導法提案～複数の意図的な不正解から、不正解の理由を思考する～ ④研究報告(令和4・5年度教育研究所研究員より) 「スタディ・ログ」を生かして自ら学びを調整する子を育てる算数授業～『個別最適な学び』と『協働的な学び』という観点から学習活動を工夫して～	①老上こども園 TEAM OIKAMI 松浦 奈津樹さん ②常盤小学校 常盤小学校ESD 中村 匡子さん ③新堂中学校 佐竹 二三也さん ④志津小学校 杉本 久美香さん	8月2日 (金) 13:00 ～ 14:30	教育研究 所 研修室	令和6年度研究奨励事業応募者の方は御参加ください。(研究奨励事業応募者の中間研修会を兼ねています。)
		日程・講演内容	講師			
	研究発表大会② 第2部 教育講演会 人権教育	14:45～14:50 開会行事 14:50～16:40 講演 「子どもの多様性に気づく」 <講演概要> 多様性の理解が必要といわれている今日ですが、本当に意識したい多様性とは、子ども一人ひとりに宿る「やりたい!」という意志に寄り添うことですが、これを現場で実現するのは中々難しいのなぜなのでしょう?今回は、ワークショップとグループコーチングを通して、子どもたちの意志が尊重される環境とは一体どんなものなのか、そんな環境を作るために私たちは何ができるのか、一緒に考えてみましょう。	イシキSmoothy 代表 寺岡 佑記さん	8月2日 (金) 14:45 ～ 16:45	教育研究 所 研修室	第1部と入れ替え制で行います。駐車場が混雑しますので、安全に気をつけて研究所へお入りください。

★連絡・注意事項			
No.	講座名	準備物・注意事項等	場所
13	ICT教育講座① 7月22日(月) PM	滋賀県教育会研究大会草津・栗東大会の記念講演と兼ねております。14時55分までは研究発表の部が行われておりますので、それまでは受付でお待ちください。	キラリエ草津 6階大会議室
4	生徒指導・教育相談講座 7月25日(木) PM	子ども家庭・若者課共催の研修です。市民活動団体や中間支援組織の方々も参加されます。	キラリエ草津 6階大会議室
15	こどもまんなか社会(学校)づくり講座 7月26日(金) PM	就学前施設の方も参加されます。	キラリエ草津 6階大会議室
11	草津教員塾 学力向上講座③ 8月1日(木) AM	活動が中心の講座となります。持ち物について、当日の服装等について、別途ご案内いたします。	笠縫東小学校 図工室等

○研究所付近の地図



※自動車でお越しの際は、教育研究所の駐車場をご利用ください。

※駐車台数が限られています。必ず【乗合わせ】でお越しください。(各校3台まで)

※駐車場が混み合いますので、時間に余裕を持ってお越しください。

※駐車場では、誘導者の指示に従ってください。

※欠席、遅刻、早退については、所属長を通じて欠席届、遅刻届、早退届を研究所へ提出してください。

※今年度はデータ資料としています。教職員は Teams>教材共有ポータルサイト>教育研究所>ファイル>R6 夏期研修講座内格納の資料をダウンロードし、指導者用コンピュータ(お持ちでなければ校務用コンピュータ)を御持参ください。PCがない方についての資料は当所で用意いたします。



NITS 校内研修シリーズ

検索

<新着動画（令和3・4年度制作分）>

No1	授業における ICT 活用～ICT を活用した授業改善～	No9	オンライン学習の授業の進め方
No2	授業における ICT 活用～校内研修の改善～	No10	1 人 1 台端末の活用場面について
No3	プログラミング教育の具体的実践 #1～私たちの生活とプログラミングの関係～	No11	1 人 1 台端末を活用した主体的な学びについて
No4	プログラミング教育の具体的実践 #2～実際のプログラミングを通したプログラミング的思考～	No12	ファシリテーション総論
No5	プログラミング教育の具体的実践 #3～授業実践事例にみるプログラミング教育の要点～	No13	ファシリテーション各論Ⅰ—会議・話し合いに活用するファシリテーション—
No6	プログラミング教育の具体的実践 #4～実践からみるプログラミング教育の可能性～	No14	ファシリテーション各論Ⅱ—授業に活用するファシリテーション—
No7	「実践力向上シリーズ」のねらいと期待	No15	ファシリテーション各論Ⅲ—学校経営に活用するファシリテーション—
No8	「探究的な学習の過程」の方法論		

校内研修シリーズ

<新着動画（令和3・4年度制作分）>

No93	幼児教育の質の向上の重要性	No112	これからのへき地・複式・小規模校教育（下）
No94	「令和の日本型学校教育」の構築を目指して	No113	人権教育
No95	自殺予防	No114	生活安全
No96	不登校児童生徒の理解と保護者への支援	No115	学校における医療的ケアについて
No97	学校のビジョンと戦略	No116	学校安全（総論）
No98	特別な支援を要する児童・生徒に対する道徳教育 ～特別支援学級における指導の在り方：理論編～	No117	学校における男女共同参画の推進～無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に気づき、変革につなげるために～
No99	特別な支援を要する児童・生徒に対する道徳教育 ～特別支援学級における指導の在り方：実践編～	No118	子供を性犯罪・性暴力の加害者・被害者・傍観者にならないための「生命（いのち）の安全教育」について
No100	ハンセン病問題学習	No119	特別支援教育総論 学習のユニバーサルデザイン・段階的対応・合理的配慮
No101	学校の内外環境の分析と特色づくり	No120	カリキュラム・マネジメント
No102	学校ビジョンの理解と共有	No121	不登校児童生徒の対応について
No103	教職員が育つ学校づくり ～校内 OJT の考え方と進め方～	No122	特異な才能のある児童生徒に対する指導・支援Ⅰ「特異な才能」の理解と捉え方
No104	1 人 1 台端末の活用による情報活用能力の育成	No123	特異な才能のある児童生徒に対する指導・支援Ⅱ 才能が輝く個別最適な学びと協働的な学び
No105	スクール・コンプライアンス（著作権）	No124	子どもを救い、チーム学校を形成するスクリーニング（理論編）
No106	ESD（持続可能な開発のための教育）	No125	学級・学年・学校支援につながるスクリーニング（実践編）
No107	主権者教育の推進① ～現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力の育成～	No126	総合的な学習の時間とカリキュラム・マネジメント
No108	主権者教育の推進② ～指導上の政治的中立の確保等の留意点～	No127	よりよい授業づくりのための“新しい”教科書の使い方—小学校編—
No109	キャリア・パスポート	No128	学校全体で取り組む食育の進め方～学級活動（2）で進める食育の授業づくりを中心に～
No110	幼保小の接続について	No129	生徒指導Ⅰ『生徒指導提要』の改訂をふまえたこれからの生徒指導の方向性
No111	これからのへき地・複式・小規模校教育（上）	No130	生徒指導Ⅱ 学校・教職員に求められる生徒指導の進め方

研究発表大会

日時：令和6年8月2日（金）

場所：草津市立教育研究所 研修室



第1部 奨励論文・研究論文発表会 13:00～14:30

●令和5年度草津市教育研究奨励事業表彰者による発表

- ① 「伝える」から「伝わる」へ保育の可視化をめざして
～見える・わかる・つながるための取組を通して～
老上こども園 TEAM OIKAMI 松浦 奈津樹さん
- ② 地域とつながり、持続可能な社会の実現に向けて、主体的に行動できる子どもの育成
～子どもの学びがにつながるカリキュラムの構築～
常盤小学校 常盤小学校 ESD 代表 中村 匡子さん
- ③ 学びの共同体実現に向けた指導法提案
～複数の意図的な不正解から、不正解の理由を思考する～
新堂中学校 佐竹 二三也さん

●令和4・5年度教育研究所研究員による研究報告

「スタディ・ログ」を生かして自ら学びを調整する子を育てる算数授業
～『個別最適な学び』と『協働的な学び』という観点から学習活動を工夫して～
志津小学校 教諭 杉本 久美香 さん

※令和6年度研究奨励事業応募者の中間研修会を兼ねています。

今年度の研究奨励事業に御応募いただいている方は、ぜひ御参加ください。



第2部 教育講演会 14:45～16:45

演題

「子どもの多様性に気づく」

開会行事	14:45～14:50
講演	14:50～16:40
閉会行事	16:40～16:45

講師 イシキ Smoothy 代表 寺岡 佑記 さん

【講演の概要】

多様性の理解が必要といわれている今日ですが、本当に意識したい多様性とは、子ども一人ひとりに宿る「やりたい!」という意志に寄り添うことですが、これを現場で実現するのは中々難しいのはなぜなのでしょう？今回は、ワークショップとグループコーチングを通して、子どもたちの意志が尊重される環境とは一体どんなものなのか、そんな環境を作るために私たちは何ができるのか、一緒に考えてみましょう。

主催 草津市教育委員会
草津市立教育研究所



やまびこだより



☎ 077-563-1270

～「やまびこ教室」5月、6月の活動から～

やまびこ教室は昨年の5月から上笠教室を開設し、青地教室と併せて市内の2つの教室で活動を行っています。普段は教室ごとに活動していますが、各学期に1回程度、交流会を企画し、様々な体験活動を通してお互いの交流を図っています。

6月12日のやまびこ交流会から

今年度初めての交流会です。晴天に恵まれ熱中症の心配をしながらも暑さに負けず野外での活動を楽しみました。心地よい風が吹く中ディスクゴルフやチーム対抗でモルック等のニュースポーツに挑戦しました。最後は全員でドッジボールをして無事交流を終えることができました。

(場所 ai 彩ひろば)



青地教室の活動から



じゃがいも掘り

青地教室の横にある畑でじゃがいも掘をしました。じゃがいもが掘れたときの嬉しそうな表情を見ることができました。

上笠教室の活動から

やまびこクッキング

今回は卵白を泡立てて、ふっくらフワフワのパンケーキ作りに挑戦しました。ホイップクリームやバナナ、チョコで飾りつけ、おいしいパンケーキの出来上がりです。



今年度6月より草津市SSWとして務めさせていただいています。

15年ほど前に海のない奈良県から参りました時、琵琶湖の水面や吹き起こる風にとっても気持ちの良いものを感じ、いいところで過ごせるなあとうれしかったのを覚えています。

奈良では中学校の教員（社会科）を、こちらに来てからは主に不登校の子どもや保護者の相談員をしてきました。相談を受けている中で、課題解決のためには家庭を始め子どもを巡る周りの環境が大切で、特に「学校」という存在がとても大きく心強く、学校にしかできないことがたくさんあるのだと教員の頃よりもひしひしと痛感するようになりました。昨今の複雑な社会の中で、日々子どもたちのために奮闘されている先生方の力になりたいという思いもありスクールソーシャルワーカーを目指しました。

子どもたちが自分らしく自分の人生を生きていけるよう、保護者の方が安心して子どもの自立を支えていけるよう、先生方や支援機関の皆さまといっしょに力を尽くしたいです。

どうぞよろしくお願いいたします。



草津市スクールソーシャルワーカー

市川かおる

「遅刻するにも練習が必要」

Kさんは超がつくほど真面目な女の子でした。「忘れ物をしたら…」とドキドキしてしまうので、全教科の教科書とノートを常に鞆に入れていました。学校では「トイレに行きたい」と言えないので、ほとんどお茶を飲まず、お弁当は一口しか食べません。「遅刻をするなんてとんでもない！」と、遅刻しそうになると学校は欠席になってしまいます。

そんなKさんが中学3年生、受験を迎える時期に差し掛かりました。このままでは朝にちょっと違和感があると受験さえも行かないことを選びそうでした。そこで、Kさんにしてもらったのが「遅刻する練習」です。遅刻をしても一定の時間内なら試験を受ける権利があること、そうしなかった場合の損失の大きさ等を説明し、Kさんも頭では納得しました。しかし、家でお母さんに「やっぱり遅刻は絶対に無理!!!!」と訴えるKさん。そこから、嫌々ながらも毎日学校には遅刻で登校し、それを先生がにこやかな顔で迎え入れることを繰り返し、徐々に「まあ、遅刻しても大丈夫だと思えるようになってきた。やっぱり気持ちは悪いけど…」とまで言えるようになりました。彼女がここで得た「遅刻してでも行く」という力は、その後の体力のない彼女の生活には大いに役立っています。

正しいやり方や理屈は分かるだけではなかなか行動に移せません。出来るようになる為には、「安心できる状況の中で実際にやってみる」ことが必要です。

シリーズ

司書さんおすすめの絵本

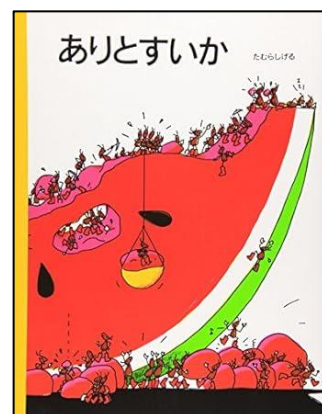


「ありとすいか」 たむら しげる／作・絵（ポプラ社）

あるあついなつのごご、ありがすいかをみつけてやってきました。これはうまいぞ、すにはこぼう！

小さなありがたくさんの仲間を呼んで、なんとか巢に運ぼうと頑張りますが、大きなすいかは動きません。ありはどうやってすいかを巢に運ぶのでしょうか。皮まで余すことなく、すいかを満喫するありたちにも注目です。

実際にありがどうやって食べ物を巢に運ぶのか、美味しいすいかを食べながら観察するのも夏のよい思い出になるのではないのでしょうか。



「おじいちゃんがペンギンやったとき」 モラグ・フッド／作 長谷川 義史／訳（小学館）

おじいちゃんのおうちに遊びに行ったわたしは、おじいちゃんに違和感を覚えます。おじいちゃんがペンギンの姿をしていて、まるで自分がペンギンかのように話をしたり、行動したりするからです。わたしがあやしんでいると、動物園から電話がかかってきます。どうやらおじいちゃんとペンギンが入れ替わってしまっているようです。

おじいちゃんを楽しむペンギン、戸惑っているわたし、動物園を楽しむおじいちゃん、三者三様の様子がおかしくて、笑いがこみ上げてくる楽しいおはなしです。



「ノラネコぐんだんアイスのくに」 エ藤 ノリコ／著（白泉社）

ワンワンちゃんのアイスクリームパーラーをノラネコぐんだんがのぞいています。おいしそうなアイスを食べたくなったノラネコぐんだんは、空っぽになったアイスの入れものに入ってアイスクリーム工場に行くことにしました。工場でいっぱいアイスを全部食べたノラネコぐんだんは、寒くて凍えてしまいます。食べられてしまったアイスとノラネコぐんだんはどうなるのでしょうか。

人気シリーズの第6作目となります。子ども達はノラネコぐんだんの一員となって冒険を楽しむことでしょう。



読み聞かせなどに、ご活用ください

このシリーズは、市立図書館の司書さんのご協力を得て作成しています。

